

年よりEやめろ

ハナ九方は金きく来た年物だ

見た目で判断するのと木更ら

買物の失敗がそうだ

見た目の自分だけ決して若さにあふれつゝいる人

人の目とろうつゝの何年よりだ

年よりとして接して来たりは ^{あり} あり ^{あり} あり

が学術 自業心を嫌きぶつたうた既 糸有に

る

年よりでなかつたうそりううそとけり

年よりEやめろ

年より9わく組からけおん

年よりだ ^た 年よりのくせにが厚い

自由だ

ここ今年か付 しうがくは自由になまて

来正が 意欲して年よりをやめろ

けがけをしていたら二〇一三年の身代が出る

来衣 朝ひらと毎日血花をけかして

敬家おしといふ ^合 算の内音もかいて

年よりといふ

ハニドベツも花ツケ花

テツニ入ればレ、スの花水ヲ 八ニカキ何

どうしんがと思うくらゐ 孝淑 夫オのセニス

どこのお母様が緩甲すゝるゝ存もの だ

そんなものごぼつていひやだ

現在とあるごぼつ

おきん、ここは并か 年より江向つて家

いといひやだ

生活をおしやれたしう

系図して自他は 何だにう

何の梗塞の存、世界をりばうい

2021/29